

2018年3月期 第2四半期 決算説明会

2017年10月25日

 栄研化学株式会社

本日の内容

1. 2018年3月期 第2四半期 トピックス
2. 2018年3月期 第2四半期 連結経営成績
3. 2018年3月期 重点施策・連結業績予想

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。
本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

2

 栄研化学株式会社

2018年3月期 第2四半期 トピックス

1. オーストラリア大腸がん国家スクリーニング獲得
2. 米国多施設共同タスクフォース（MSTF）の大腸がんスクリーニング勧告の変更（「化学法の使用を推奨しない」旨の明記）
（2017年7月）
3. 那須工場でOC、LZ試薬の増産体制確立（2017年4月）
4. 野木工場新製造棟で尿試験紙の生産ライン稼働開始
（2017年9月）
5. 野木工場隣接地（約51,000㎡）の購入予約（2017年9月）

2018年3月期 第2四半期 連結経営成績

2018年3月期 第2四半期 連結業績総括

(単位: 百万円)

	2018年3月期 第2四半期					
	業績予想※1	実績	構成比	予実差異	前年 同期差異	前年 同期比
売上高	18,000	17,462	100.0%	▲537	658	103.9%
営業利益	1,400	2,215	12.7%	815	▲109	95.3%
経常利益	1,400	2,255	12.9%	855	▲88	96.2%
当期純利益※2	1,000	1,633	9.4%	633	▲81	95.3%

※1 期首予想、※2 親会社株主に帰属する当期純利益

【売上高】

- ・業績予想に対して537百万円の未達、海外向けの便潜血検査用試薬及びLAMP試薬の伸び悩みが主因
- ・前年同期比3.9%増
- (国内) 迅速検査試薬(イムノキャッチシリーズ)の売上が伸長
- (海外) 米国・欧州における便潜血検査用試薬・装置およびシスメックス社向け尿検査用試薬・装置の売上が増加

【営業利益】

第2四半期に予定していた小型全自動遺伝子検査装置の開発費の計上が第4四半期にズレ込んだものの、製造原価率の上昇・製品売上構成の変化により売上原価率が上昇したことに加え、試験研究費を中心に販売費及び一般管理費が増加したことにより、前年同期比4.7%減

5

 栄研化学株式会社

製品の種別別区分ごとの売上高

製品の種別別区分	2018年3月期 第2四半期	
	実績(百万円)	前年同期比(%)
便潜血検査用試薬 (OC)	4,716	104.0
免疫血清学的検査用試薬 (OCを除く)	5,084	101.3
尿検査用試薬	1,372	111.0
微生物検査用試薬	2,538	102.8
生化学的検査用試薬	308	96.9
器具・食品環境関連培地	1,113	98.5
遺伝子関連 (LAMP)	546	95.2
医療機器関連・その他 (遺伝子関連機器を除く)	1,782	117.2

6

 栄研化学株式会社

便潜血検査用試薬(OC) 売上・活動

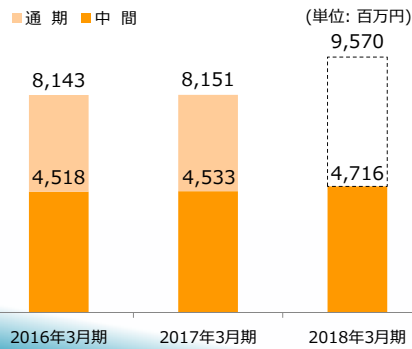
◇ 前年同期比: 104.0%

(国内) 前年同期比: 100.9%

- 便潜血測定装置「OCセンサー-PLEDIA (プレディア)」の設置推進による新規採用拡大
- 大腸がん検診受診率アップのための啓発活動

(海外) 前年同期比: 112.8%

- 米国
 - ・民間医療保険 (HMO等) 向け売上増加
 - ・退役軍人医療保障プログラム (VA) 向け販促強化
 - ・大腸がんスクリーニングに関する新ガイドライン (USPSTF、2016年6月) を受けた新規顧客獲得活動の継続
- 欧州
 - ・ドイツ主要検査センター向け売上増加
 - ・フランスでの受診率向上に向けた施策展開
- 中東
 - ・各国での国家スクリーニング獲得に向けた活動継続
- アジア・オセアニア
 - ・オーストラリア国家スクリーニング獲得



7

 栄研化学株式会社

免疫血清学的検査用試薬(OCを除く) 売上・活動

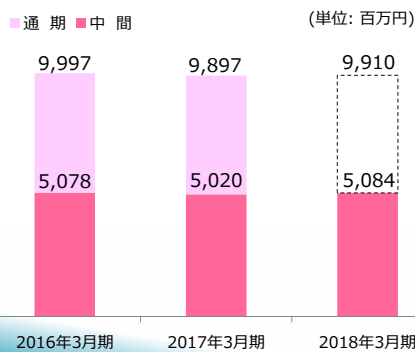
◇ 前年同期比: 101.3%

(AIA関連試薬)

- 東ソー株式会社から導入しているAIA-CLシリーズの設置促進
- 他社との競争激化、前年同期比は微増

(LZ試薬)

- 胃の健康度評価(ABC分類)の普及促進、LZ試薬全体では前年同期比微増
- ヘリコバクター・ピロリ抗体検査用試薬の販売促進



8

 栄研化学株式会社

尿検査用試薬 売上・活動

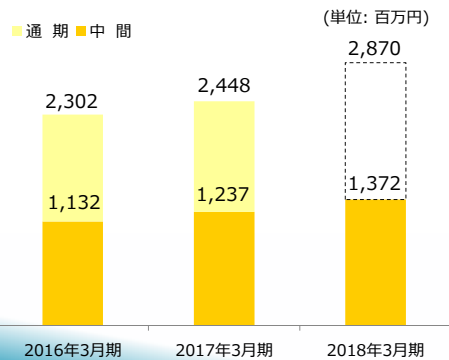
◇ 前年同期比: 111.0%

(国内)

- 全自動尿分析装置「US-3500」の新規採用・切替促進により、ウロペーパーが伸長
- 2016年8月に発売した尿自動分析装置「US-1200」の販売促進

(海外)

- シスメックス社向け尿試験紙の売上が大きく寄与



栄研化学株式会社

9

微生物検査用試薬 売上・活動

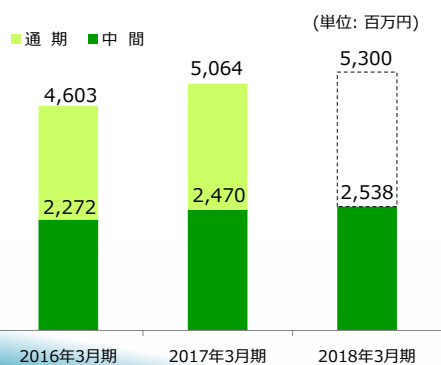
◇ 前年同期比: 102.8%

(迅速検査試薬)

- 「イムノキャッチ-レジオネラ」と「イムノキャッチ-肺炎球菌」のセットでの販売促進により売上増加

(薬剤感受性検査用試薬)

- 病院市場での微生物分類同定分析装置「MALDIバイオタイパー」と組み合わせたトータル提案での新規顧客の獲得等によりドライプレートの上増加



(培地)

- 糞便培地検査の遺伝子検査への変更の影響を受け、生培地の売上減少



栄研化学株式会社

10

遺伝子関連(LAMP) 売上・活動

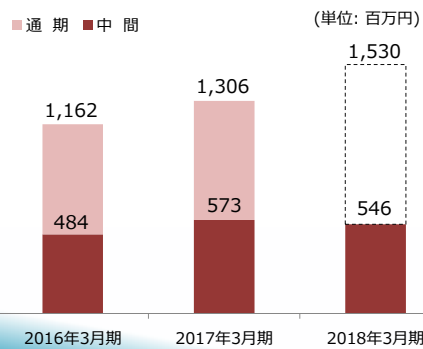
◇ 前年同期比: 95.2%

(国内)

□ 流行収束に伴うマイコプラズマ検出試薬の販売減等により全体として減少

(海外)

□ TB-LAMP、マラリアのグローバル展開に向け、アフリカ・アジアを中心にField Studyを推進



(ライセンス)

□ 特許料収入: 244百万円
(前期実績: 243百万円)



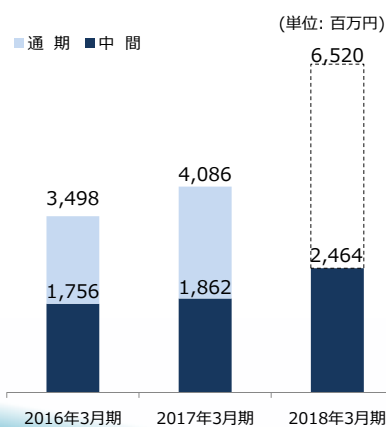
11

栄研化学株式会社

海外向け売上高

売上高

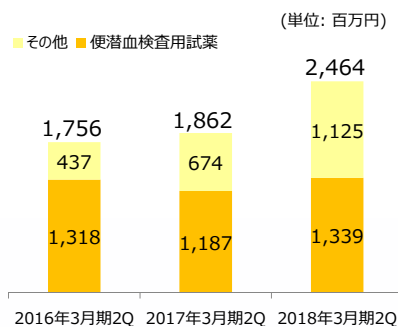
◇ 前年同期比: 132.3%



売上高(製品種類別)

◇ 便潜血検査用試薬(OC): 前年同期比112.8%
⇒米国及び欧州で売上増加

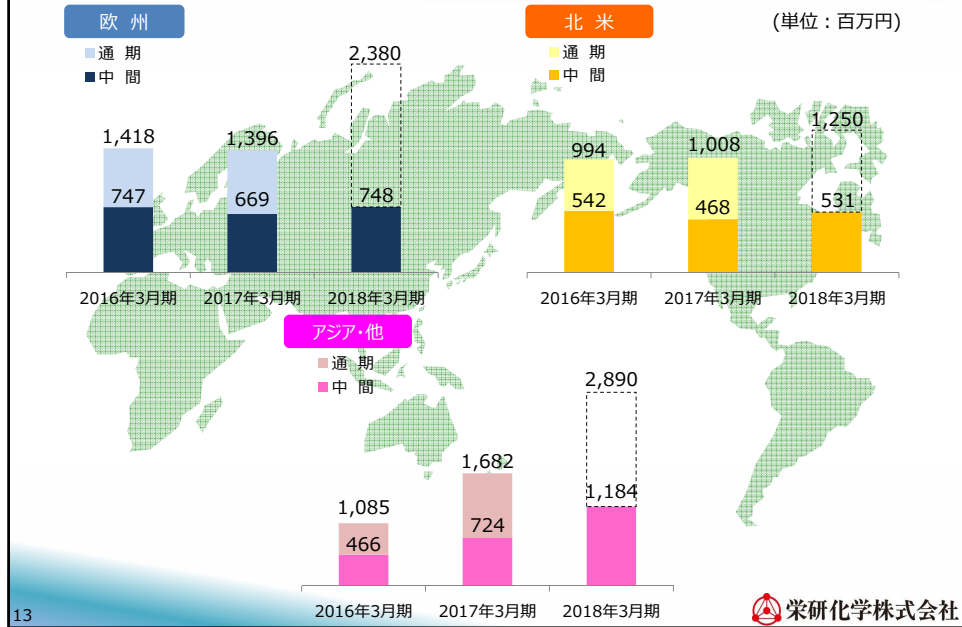
◇ その他(機器を含む): 前年同期比166.8%
⇒シスメックス社向けの尿試験紙・装置の売上が大きく寄与



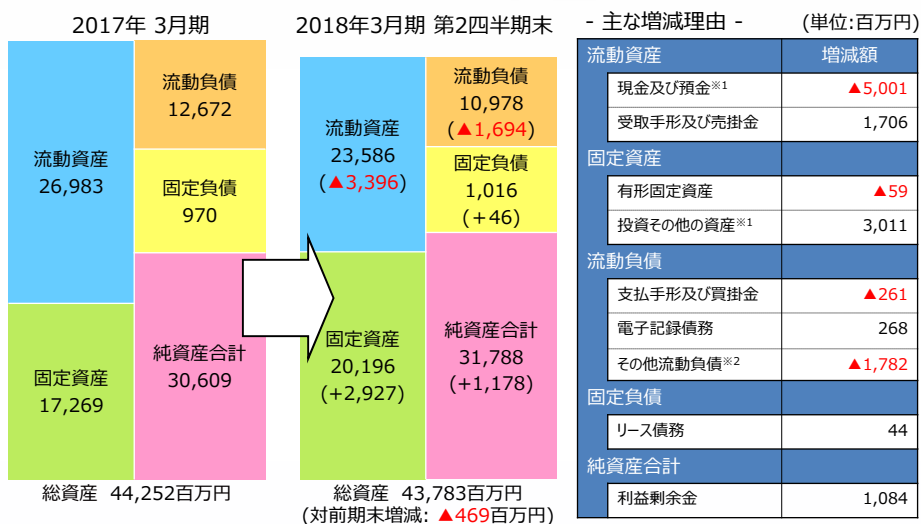
12

栄研化学株式会社

海外向け売上高(地域別)



貸借対照表(主な増減理由)

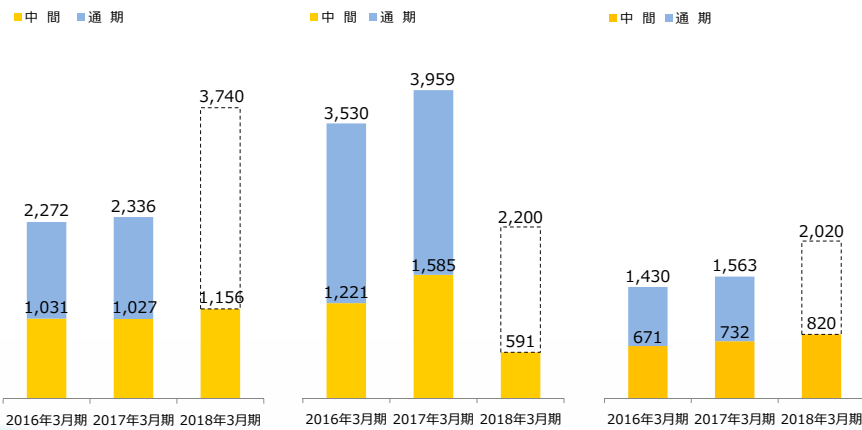


研究開発費・設備投資の推移

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



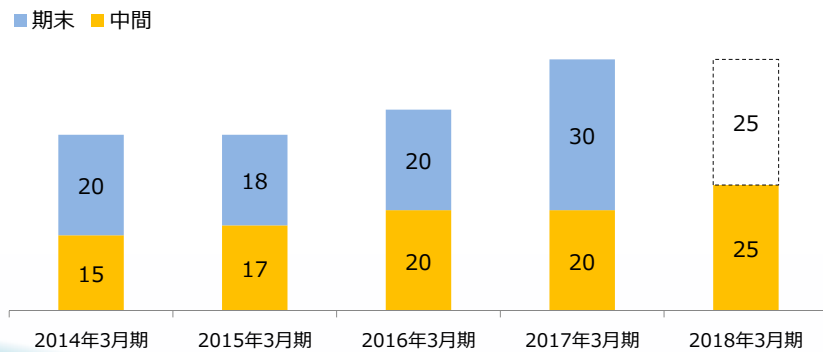
15

栄研化学株式会社

株主還元(配当金)

中間配当: 1株当たり25円

連結中間配当総額: 4億57百万円



16

栄研化学株式会社

2018年3月期 重点施策・連結業績予想

17

 栄研化学株式会社

2018年3月期 第3・4四半期 重点施策

販売

(1) 便潜血検査

OC製品発売30周年：

採便容器 累積販売本数 約12億本、第79期販売本数 約9,000万本

- ✓ 国内での大腸がん検診普及活動による市場拡大
- ✓ 米国：USPSTFガイドライン発行を起点とする化学法から免疫法への切替促進
- ✓ 欧州：ドイツでのシェア拡大に向けた販売施策強化、フランス受診率向上に向けた啓発活動、
イングランド国家スクリーニング獲得に向けた取り組み
- ✓ 新規市場の獲得：中東、インド、ロシア、南米

(2) 尿検査

- ✓ 国内：尿沈査メーカーとの連携による全自動尿分析装置「US-3500」の新規獲得、尿自動分析装置「US-1200」の設置促進
- ✓ 海外：シスメックス社との協業による尿試験紙・装置の売上拡大

(3) 免疫血清学的検査

- ✓ 胃の健康度検査(ABC分類)の普及推進
- ✓ 東ソ-から導入・販売している全自動化学発光酵素免疫測定装置「AIA-CL2400」、
「AIA-CL1200」の設置促進

(4) 遺伝子検査

- ✓ TB-LAMP、マラリアのグローバル販売に向け、アフリカ・アジアを中心にField Study推進

18

 栄研化学株式会社

2018年3月期 第3・4四半期 重点施策

研究開発

- (1) 2019年3月期上市に向けたLAMP小型全自動遺伝子検査システム（Simprova）の開発推進
- (2) 便潜血検査のOTCガイドライン発行を見据えた申請準備
- (3) イムノクロマト製品のラインアップ拡充に向けた検討
- (4) 新規バイオマーカー（がん、心血管疾患等）、新技術の探索

拠点整備・その他

- (1) IT中期計画に基づく全社IT化の推進
- (2) 働き方改革、人事関連制度の整備

19

 栄研化学株式会社

2018年3月期 連結業績予想

通期業績予想 (単位：百万円)

	連 結		
	金 額	構成比	対前期比
売 上 高	35,840	100.0%	107.7%
営 業 利 益	3,070	8.6%	77.2%※2
経 常 利 益	3,070	8.6%	74.7%※2
当期純利益※1	2,180	6.1%	74.7%※2

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 集中的な研究開発投資等の一時的な費用増加により減益見込み

配当予想 (単位：円)

	中間配当	期末配当	年 間	配当性向
	25	25	50	42.0%

20

 栄研化学株式会社



栄研化学株式会社

臨床検査薬の総合メーカーとして
人々の健康に貢献していきます。

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

 栄研化学株式会社